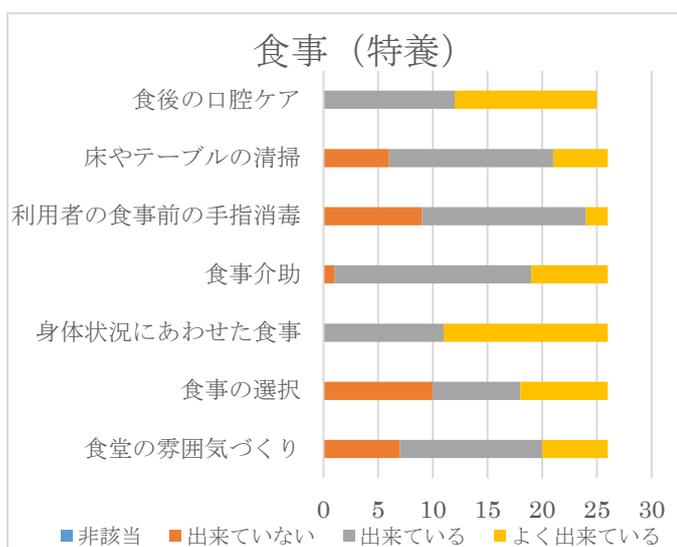


介護サービス自己評価結果（平成29年度）11月9日実施（特養）

I 日常生活援助サービス

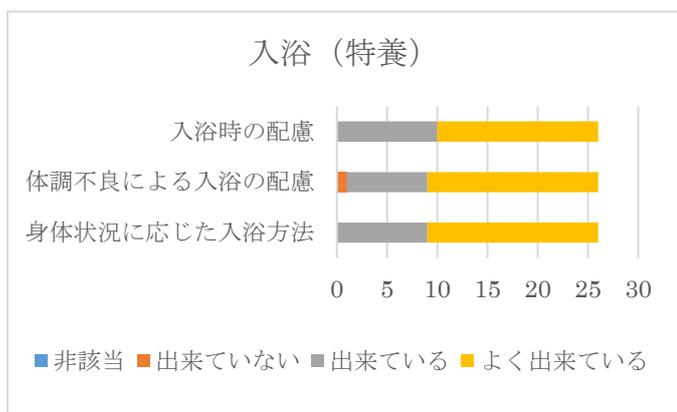
1 食事

食堂の雰囲気づくりは70%、食事の選択は60%、身体状況に合わせた食事は100%、食事介助は100%できている。食事の衛生管理について、毎食前に利用者の手指の消毒を行っているが63%、残り37%はおしぼりタオルでの清拭であった。食堂の床やテーブルを毎食後消毒しているが77.8%、毎食後の口腔ケアは100%できているという結果でした。



2 入浴

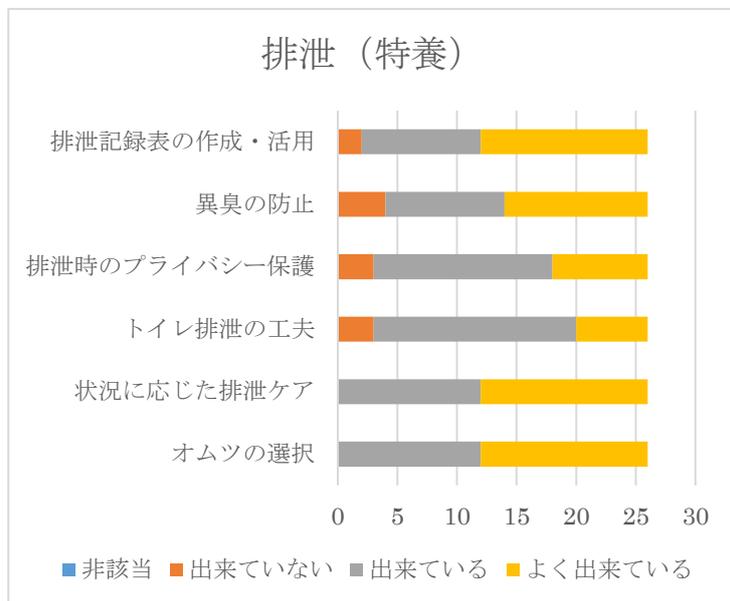
入浴については身体状況に応じた入浴方法や入浴時の配慮は100%出来ているという結果でした。



3 排泄

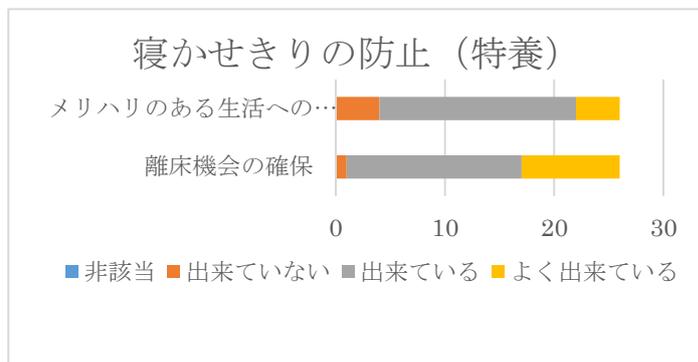
適切な排泄ケアへの配慮については、利用者に必要な排泄ケアを選択しているが100%、出来るだ

けトイレで排泄できるように工夫しているが90%、排泄時のプライバシー保護が90%、異臭の防止が85%、排泄記録表の作成・活用が93%できているという結果でした。



4 寝かせきりの防止

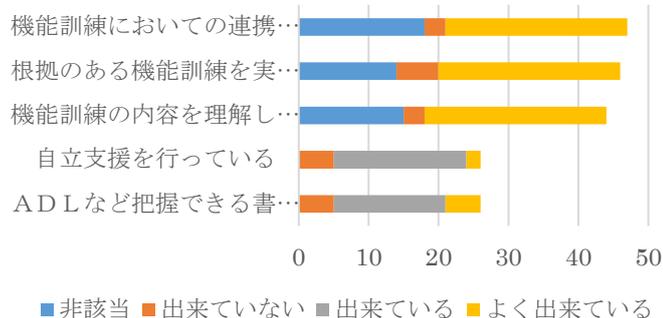
離床機械の確保が95%、メリハリのある生活への取組が80%できているという結果でした。



5 自立支援（機能訓練）

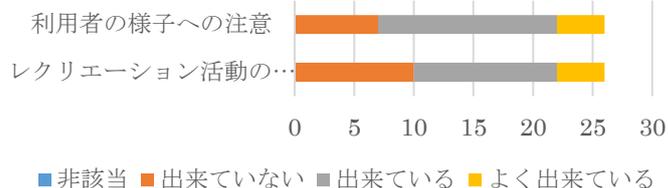
日常生活における自立支援において、利用者のADLを確認できるが90%、機能訓練内容を介護職員が把握しているが67%、機能訓練との連携体制が取れているのは連絡情報交換を取れているが55%という結果でした。

自立支援（特養）



様子への注意が69%できているという結果でした。

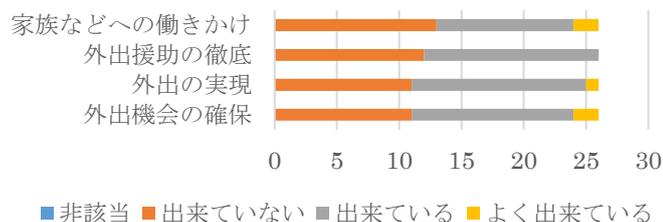
生活づくり（特養）



6 外出への援助

外出機会の確保は60%、外出の実現は60%、外出援助の徹底は53%、家族への働きかけが50%できているという結果でした。

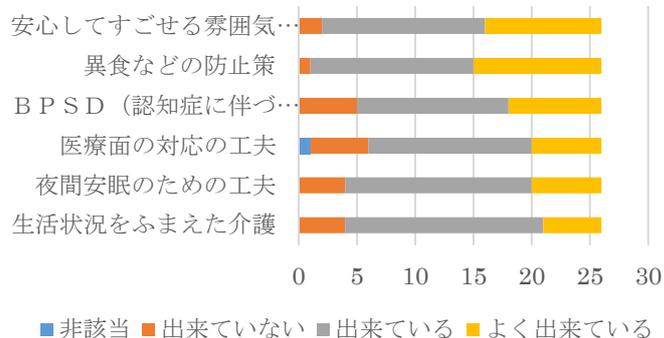
外出への援助（特養）



9 認知症利用者への対応

生活状況を踏まえた介護が88%、異食などの防止が95%、安心して過ごせる雰囲気づくりが90%、BPSDへの理解と対応が78%、医療面の対応と工夫が78%、医療面の対応と工夫が74%できているという結果でした。

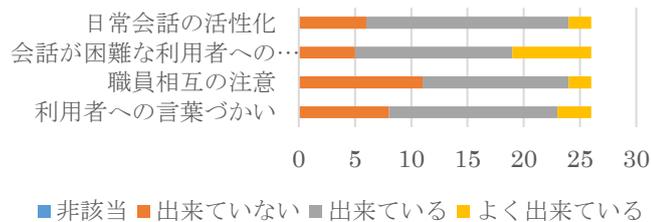
認知症利用者への対応（特養）



7 会話

利用者への言葉使いが77%、職員相互の注意は63%、会話が困難な利用者への対応が80%、日常生活への活性化が73%できているという結果でした。

会話（特養）



10 利用者の自由選択

身だしなみへの支援は84%できているという結果でした。

利用者の自由選択（特養）



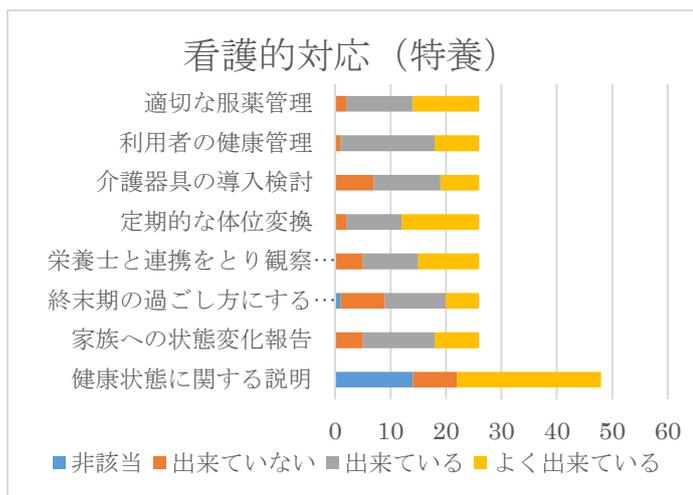
8 生活づくり

レクリエーション活動の充実が60%、利用者の

11 看護的対応

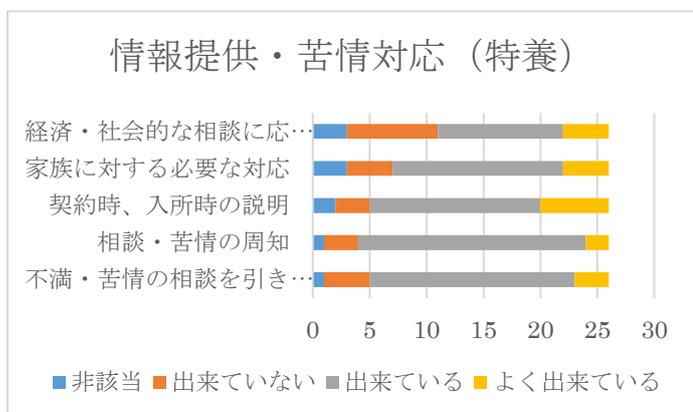
健康状態に関する利用者・家族への説明について

はわかりやすく説明し理解を得ているが80%、終末期の過ごし方の話し合いが57%ができています。褥瘡予防対策で定期的に体位変換を行っているが96%、看護職・栄養士が利用者の皮膚や栄養状態を観察しているが78%、介護職と看護職が話し合い介護器具を導入しているが70%ができています。利用者の健康管理は97%出来ているという結果でした。



12 情報提供・苦情対応など

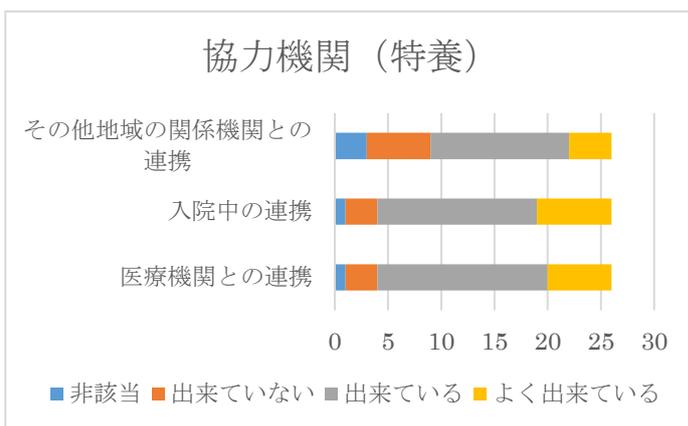
苦情対応・苦情処理について不満・苦情を引き出す工夫をしているが70%、相談や苦情内容を各職種間で周知されているが82%ができています。契約時、入所時の説明は90%ができています。利用者・家族からの相談対応について、必要な対応に努めているは90%、利用者家族からの経済的・社会的相談に応じているが90%ができていますという結果でした。



II 地域連携

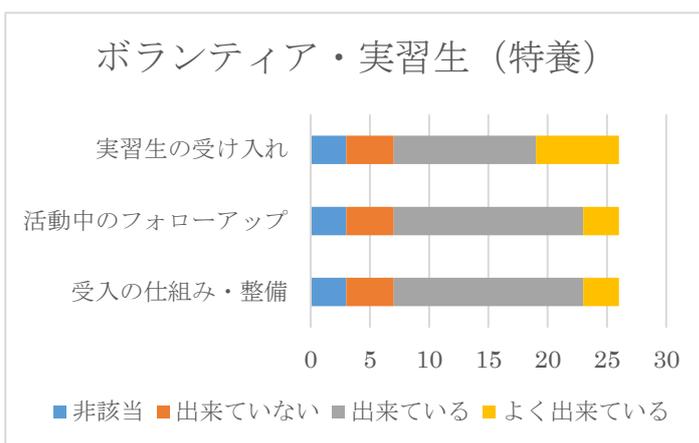
13 協力期間

医療機関との連携については、必要時適切な診療が行われているが80%、入院期間中に家族と病院と円滑な連携が取れているが80%ができています。その他地域関係機関との連携は53%ができていますという結果でした。



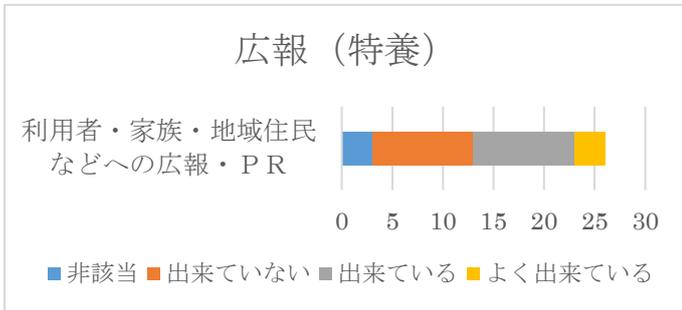
14 ボランティア・実習生

ボランティアの活用については、受け入れ窓口や仕組みが整備されているが67%、活動期間中のフォローが行われているが67%ができています。実習生の受け入れが67%ができていますという結果でした。



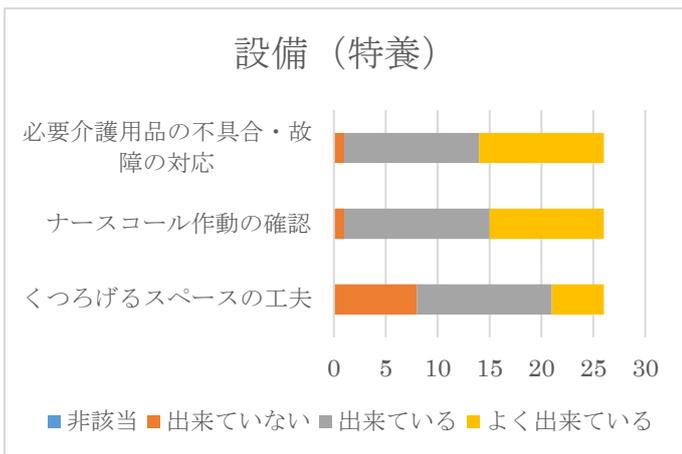
15 広報・PR

利用者・家族・地域住民などへの広報・PRは50%できているという結果でした。



16 設備

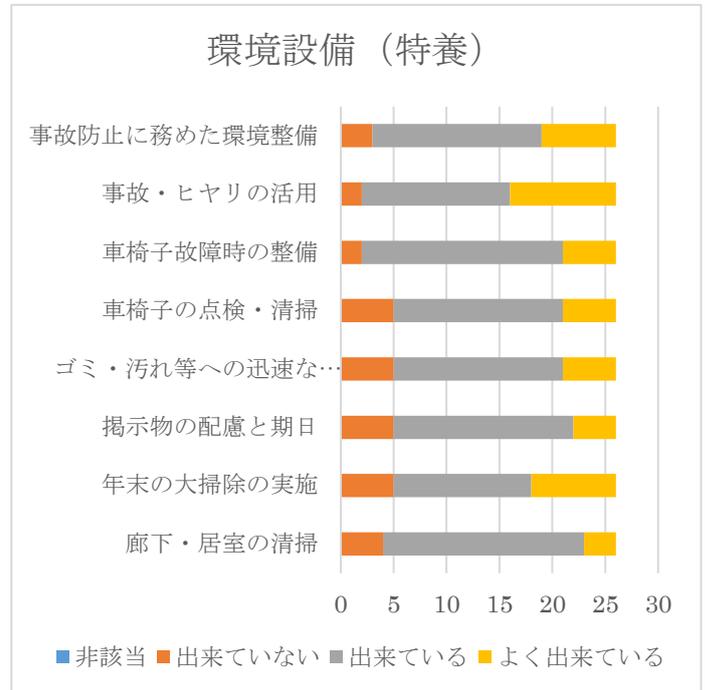
くつろげるスペースの工夫については72%、ナースコール作動の確認は95%、必要介護用品の不具合・故障の対応は95%ができているという結果でした。



17 環境整備

清掃の実施については、廊下・居室・トイレの掃除は1日1回程度行っているのは88%、年末時に大掃除を行っているのは82%、掲示物の管理は82%、廊下や居室の汚れを見つけたらすぐに対処しているのは82%ができている。車いすやベッドの定期的メンテナンスについては、必要に応じ清掃、修理、交換を行っている歯82%、車椅子の空気が抜けているのに気づいたらその場で対処しているのは90%できている。安全への配慮については、事故情報やヒヤリハットを活用し、廊下や居室に障害物を

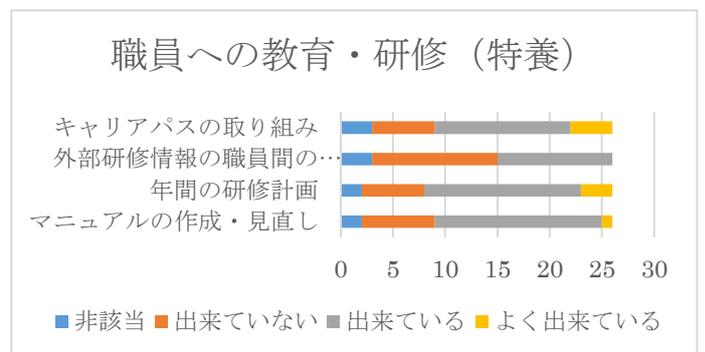
置いていないのは90%、床や段差、照明などに安全の配慮をしている歯85%ができているという結果でした。



III マネジメント (運営管理)

18 職員への教育・研修

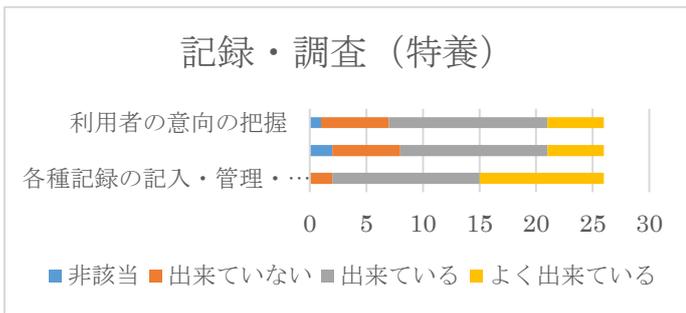
マニュアルの作成・見直しは67%、年間の研修計画を立てて実施しているのは72%できている。外部研修情報の職員間の共有化は46%、キャリアパスへの取り組みは61%できていないという結果でした。



19 記録・調査

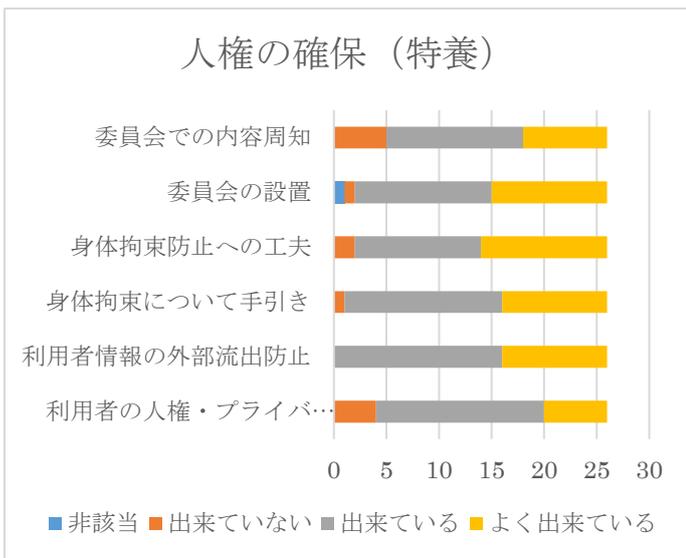
各種記録の記入・管理・活用は90%が、情報伝達は60%が、利用者の意向の把握は90%ができ

ているという結果でした。



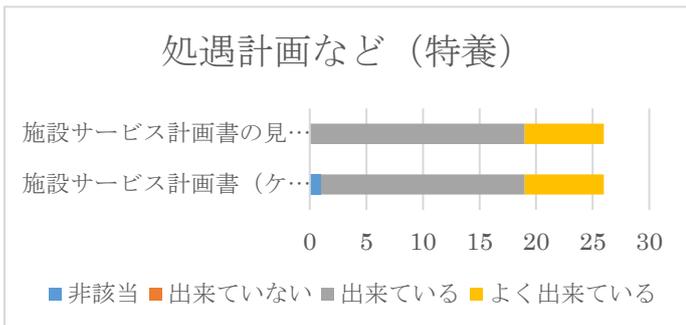
20 人権の確保

利用者の人権・プライバシー保護のための配慮は85%が、利用者情報の外部流出防止については100%が、身体拘束についての手引きについては88%が、高速廃止への働きかけについては、すべて78%が、できているという結果でした。



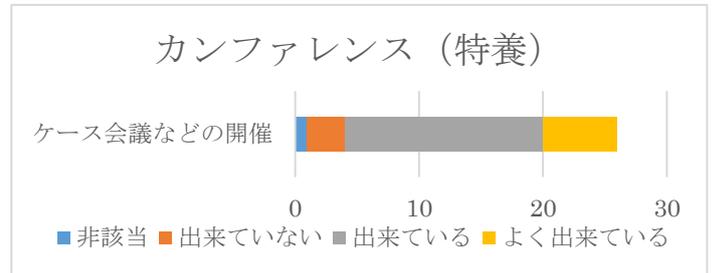
21 処遇計画

施設サービス計画書（ケアプラン）の作成は97%、施設サービス計画書の見直し・評価については100%ができているという結果でした。



22 カンファレンス（ケース会議等）

ケース会議などの開催については78%ができているという結果でした。



23 リスクマネジメント

不測の事故に備えた訓練・研修の実施は97%が、感染症対策は100%が、徘徊に対する適切な対処は89%、誤薬などの場合の対応は98%、事故防止への対策は100%、賠償責任保険などへの加入は69%、災害等に備えた対応は97%ができているという結果でした。

